

今月号の巻頭言は、元家政大附属幼稚園の川崎千束先生にお願いしました。長年、幼児教育、保育者養成に関与していらした先生は、思うことに溢れていらっしゃるようで、「雨の日が続いたことが幸いして、早くまとめることができました。」と墨色も鮮やかな稿をいただきました。益々お元気に、未熟な私共に、多くのことを教え伝えてください。

お茶の水附属幼稚園長小川剛先生は、同大学文教育学部で社会教育が専門でいらっしゃいます。園長になられて三年半。日頃のさまざまな思いをふり返り、何回かに渡って書いていただけることになりました。

ある日の、はるにれの会での話  
「近頃、我が子が成長して小学生や中学生のことを書いているけれど、『幼児の教育』という誌名に『幼児期を過ぎていくのかしら』と思わない？」

「子どもが小学生や中学生になってか

ら、『幼児期』が見えてくることってあるでしょう。小学生の子の今の事を考えているのだけれど、いつのまにか、親として関わってきた、その子の歴史をさかのぼって、『これに似たことは、前にもあった』って思い出しているのね。そうすると、今、問題に思われている事柄が、多面的にとらえられて、ゆつたりと構えることができた事が何度もあるわ。子どもが幼児期の時には見えなかったものまで見えてきてね。」

『臨床の現場から』の飽田先生の事例も、『南の島の子どもたち』の浅野先生の事例も、ずっと大きい子どもたちだけれど、幼児期の子どもの子育て真最中の私には、とてもためになるし、はるにれの会の先輩ママ達の記も、心の準備（笑）ができて、はじめての子育てのよき指針となってくれています。etc. ....

読者の皆様はいかがお考えでしょう。ご意見をお聞かせください。

(Y)

## 幼児の教育 第八十七巻 第十号

十月号

◎

定価 四〇〇円

昭和六十三年 九月二十五日 印刷  
昭和六十三年 十月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 本 田 和 子  
発行人

東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番  
TEL・二九二・七七八一(代)

◎本誌御購読についての御注文は発売所フレイベル館にお願いいたします

※万一製造不良の点がございましたら、おとりかえいたします。